

キコニアレター

2016.2.2 発行 No.8



巣を造った電柱で寄り添う2羽
この日はしきりにクラッタリングをした
巣は夏から補修していないので
すっかり小さくなっている
2015年12月12日撮影

徳島県は全国第2位のレンコンの生産県で、鳴門市を中心とした500haに及ぶレンコン田では、従来から農薬や化学肥料を減らした「環境にやさしい農業」が行われています。

このため餌となる水生動物が多く生息し、しかも浅い湛水状態がほぼ周年保たれるなどコウノトリにとって好適な環境らしく、最近2年余りで少なくとも17個体が飛来しています。

この地域で昨年2月から滞在していた、ともに但馬地域生まれの雄雌2羽が4月、巣造りを始めました。

彼らの行動は、本種を招き定着させようという計画も意図も持っていなかった本県にとっては晴天の霹靂でしたが、5月に急遽、「コウノトリ定着推進連絡協議会」を立ち上げ、兵庫県立コウノトリの郷公園からは江崎保男先生をアドバイザーとしてお迎えして、慌ただしく取組がスタートしました。

ここでのコウノトリは、レンコンを中心とした地域の営農に依存して生活しているため、協議会の活動体制は地元農家の方々を中心に置くことにしました。

幸い2羽は地域に温かく受け入れられ、日々の見守りや休作田を利用した夏期の餌場作りなど、農家の皆さんが愛情と熱意を持って取り組まれています。

一方、行政は野鳥関係団体や大学の研究者からご指導を頂きながら活動全体の調整役を務め、巣造りした電柱の所有者である四国電力からの協力の取付け、「鳴門コウノトリ鳥獣保護区(490ha)」設置などを行いました。

こうした地域一丸の取組が功を奏し、餌不足が懸念された夏を乗り切り、無事に年を越すことができ、雌が3歳、雄が5歳となる今春以降の繁殖に夢が繋がりました。

鳴門のカップルの繁殖に関して、郷公園をはじめ全国から熱い期待の声をたくさん頂戴しています。

始まったばかりの徳島の取組が「野生復帰グランドデザイン」が目指す「メタ個体群構造確立」の一翼を担い、鳴門のカップルが但馬から全国へ幸福を運ぶコウノトリの先駆けとなれるよう、皆さんの応援をお願いいたします。

コウノトリの個体数 (2015.12.17 時点)

飼育コウノトリ

施設・拠点名	オス	メス	不明	計
県立コウノトリの郷公園	29	31	0	60
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	16	16	0	32
養父市八鹿町伊佐地区放鳥拠点	1	1	0	2
朝来市山東町三保地区放鳥拠点	1	1	0	2
計	47	49	0	96

野外コウノトリ

カテゴリー	オス	メス	計
リリース	10	11	21
野外巣立ち	20	36	56
野生	0	1	1
計	30	48	78

コウノトリ翔ける地元を愛でる

～コウノトリ茶話会の取組～

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科准教授
兵庫県立コウノトリの郷公園研究員

山室 敦嗣



コウノトリの野生復帰 10 年を機に、郷公園は豊岡市とともに野生復帰を軸にした地域づくりの一層の浸透と持続を目指して、コウノトリ茶話会を人工巣塔が立つ行政区で始めました。豊岡市内で人工巣塔のある行政区は 23 ですが、まずは造巢行動がみられた人工巣塔のあるところから順に実施しています。



夜遅くまで話に花が咲いた豊岡市福田区で行った茶話会の様子

コウノトリ茶話会の開催にあたって最も配慮したのは、参加した住民の方々にざっくばらんに話をしてもらうことでした。そう願って、いくつかの工夫を試みました。実施時間 90 分のうち、最初の 30 分は郷公園と豊岡市が話題を提供し、残りの 60 分は質疑応答だけにならないよう皆で談話する時間にしました。話題提供から始めることによって、談話のときに住民の方々が話を切り出しやすいのではないかと考えたのです。提供する話題も、郷公園は当該集落の人工巣塔から巣立ったコウノトリの行動、豊岡市はコウノトリ育む農法や湿地再生などの施策というように、住民の方々にとって身近な話題を用意しました。談話のときは、参加者が互いに顔と顔とを見合わせて話の内容を共有しやすくするために車座になります。茶話会の名前通り、参加者がお茶を飲みながら談笑する小さな集まりをイメージしたのです。

実際の談話でとても興味深かったのは、住民の方々の話にコウノトリや地元の風景などを“愛でる語り”が現れることでした。たとえば「コウノトリは大きく美しい。見るとラッキーな感じがして良いことがあるかなと思う」というように、コウノトリを

愛でる語り。また「コウノトリ育む農法の話は毎日のようにしている」と、コウノトリと共生する環境づくりに励む住民を愛でる語り。さらに「コウノトリが飛んでいる風景は平和でいい」と、コウノトリ翔ける地元を愛でる語りなどです。ときには、愛でる語りのやりとりが連続して、茶話会がドッと盛り上がることもあります。その様子を「漫才のようだ」と評した住民の方もいました。愛でる語りが随所に織り込まれたコウノトリ茶話会を体験した女性は、次のように話しています。

「私自身、この村でコウノトリの話をしたことがないんです。誰とも。だから、皆さんあんまり興味ないんかと思って。主人だけが興味もって。それで、今日びっくりしたんです・・・この村の方が、コウノトリのことをよく知っておられるんでびっくりしたんです・・・ちょっと興味がでてきたというか・・・今日こさしていただいてよかったです」。

コウノトリ茶話会が愛でる語りを交わし合う場になることで、参加した住民は地元への愛着を共有しながら、それを深めることになります。このことは、コウノトリの野生復帰を軸にした地域づくりに携わっている住民を鼓舞し、その取組が息切れすることを防ぎ、新たな担い手を育むことにつながるでしょう。コウノトリ茶話会は、たしかに小さな集まりですが、それが地元への愛着を深め、新たな担い手を生みだす源として、コウノトリの野生復帰を軸にした地域づくりの浸透と持続に寄与するという大きな可能性を秘めています。



大学院 RRM コラム

No.3

年が明けてようやく雪が降った
院生たちがキャンパス裏山で
ミヤマホオジロを見たという
若いころ下宿からほど近い山に
毎朝通いつめたことがある
ある朝雪が降った
つづら折りの坂を登りきり
尾根道に入ったとき
ささやかな鳥の音が耳をかすめた
まるで鈴の音のようだ
そつと歩みをすすめ
前方に眼を凝らすと
なんとカヤクグリ…(高山の使者)
また踏み荒らされていない雪道に
朝陽に照らされた
その姿がまぶしかった
雪の朝忘れもしない
若い日の 記憶である

鴻巣子



昨年は8ペアから13羽が巣立ちました。これらのうち、河谷ペアだけが人工巣塔ではなく、電柱(電柱上部に設置したフレームの上)で繁殖を行いました。コウノトリは同じペアが原則、同じ場所で繁殖を繰り返すことが分かってきたため、今後の危険回避と繁殖の継続を図る目的で、2月1日(月)、昨年の営巣場所近くに新たな巣塔を立て、そちらへ誘導することとしました。



01 昨シーズンこの電柱から1羽のヒナが巣立った。
02 H27.12.7 関西電力職員の協力により巣材撤去し、電柱上部のフレームも取り外す。
03 H28.2.1 小雨の中電柱型人工巣塔を設置した。高さ12m。
04 新設した巣塔の上部に取り付けられたフレームと巣材。
05 コウノトリの視点から河谷区を眺望する。

なぜ巣塔を新設し、誘導する必要があるのですか？

2つの理由があります。1つは「危険回避」のためです。コウノトリは巣材として木の枝以外にも、針金など電気をよく通す材料を使うことがあります。電柱に営巣した場合、これが原因となりコウノトリが感電してしまう恐れがあるのです。電気事故が起こることは人間の生活にとってもやっかいなことです。もう1つは、「巣塔配置の適正化」のためです。コウノトリのペアは、なわばりを持ちますが、ここ河谷ペアと隣の百合地ペアの巣間距離が近すぎることが問題とされてきました。そこで昨年の繁殖場所から約30m離れたところに巣塔を新設したのです。

電柱にコウノトリが営巣した場合、①巣材の撤去 ②電線のバイパス工事 ③人工巣塔の新設・移設(設置後の誘導含む)などの対応が考えられます。①は最も簡単な方法ですが、撤去した後もコウノトリが再度造巣を始めることがあります。

まずは電力会社と連携し、自然と人間が共存するため方法について協議することが望ましいと考えています。

(解説：郷公園 大迫部長心得)



今回は、兵庫県立大学大学院、地域資源マネジメント研究科の学生サークル「鳥見ing」さんに活動の様子をお尋ねします。

三木自然観察員(以下、三木、この季節のバードウォッチングの魅力とは何ですか。鳥見ing以下、鳥見)、冬は森の落葉樹の葉がなくなり鳥を見つけやすい季節です。また、餌が少ないので人里に鳥が近づき、鳥を見つけるチャンスが増える季節なのです。

三木、どんな鳥が見つかりますか。

鳥見、ツグミ、ジョウビタキ、ホオジロ、シロハラ、メジロ、シジュウカラ、川や池ではカワセミ、サギやカモの仲間がいます。

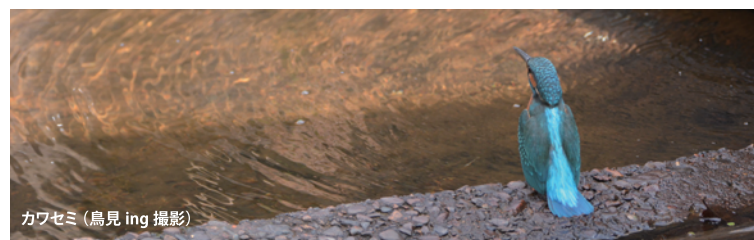
三木、いろいろな鳥を見つかるためのコツなどはありますか。

鳥見、普段見慣れたところでも、鳥を見ようと意識して歩くことが大切です。すると鳥はもちろん、鳥以外にもいろいろな出会いがある

ります。鳥を見るときのポイントの一つは、「スズメか、そうでないか」です。スズメではないとわかると、いろいろな鳥が見つかり始めます。鳴き声に注意するのもよい方法です。

三木、バードウォッチングをやっているよかったです。うことを教えてください。

鳥見、バードウォッチングは普通の服装、靴で気軽にできることが魅力です。カワセミなどを発見したときは仲間とアイコンタクト



で喜んでいきます。

私たちの活動はフェイスブック「鳥見ing」でも紹介していますので見てください。

皆さんの近くで多くの鳥たちが待っています。寒い今こそ鳥を見るチャンスです。ぜひトライしてみてください。

もし弱った鳥や死んだ鳥を見つけたら、

- 1 各県民局に連絡してください。(但馬県民局 tel 0796-23-1001) 鳥の種類、大きさ、けがの有無などわかる範囲で伝えてください。
- 2 県民局の指示を聞いて対応してください。

コウノトリの飛来市町村一覧

2016年1月13日時点

北海道	目撃情報なし
青森県	弘前市、三沢市、つがる市、平内町、北津軽郡、鶴田町、佐井村
岩手県	陸前高田市
宮城県	仙台市、登米市、大崎市、丸森町
秋田県	目撃情報なし
山形県	目撃情報なし
福島県	目撃情報なし
茨城県	常総市、笠間市、守谷市、常陸大宮市、坂東市、神栖市
栃木県	足利市、小山市
群馬県	安中市、邑楽町
埼玉県	加須市
千葉県	木更津市、野田市、袖ヶ浦市、いすみ市、多古町
東京都	目撃情報なし
神奈川県	横浜市、藤沢市
新潟県	新潟市、長岡市、柏崎市、新発田市、上越市、阿賀野市
富山県	高岡市、魚津市、黒部市、南砺市、射水市、入善町
石川県	七尾市、珠洲市、加賀市、志賀町、宝達志水町、穴水町、能登町
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、南越前町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町
山梨県	大月市、南アルプス市、北杜市、上野原市
長野県	上田市、飯田市、大町市、安曇野市、中川村、白馬村、坂城町
岐阜県	岐阜市、大垣市、関市、恵那市、山県市、下呂市、可児市、養老町、垂井町、関ヶ原町、揖斐川町
静岡県	静岡市、伊東市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、下田市、湖西市、牧之原市、南伊豆町
愛知県	豊橋市、一宮市、碧南市、豊田市、江南市、小牧市、知多市、田原市、武豊町、幸田町
三重県	津市、四日市市、松阪市、桑名市、鳥羽市、志摩市、明和町、紀宝町
滋賀県	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、高島市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町
京都府	京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、伊根町、与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、貝塚市、枚方市、和泉市、大阪狭山市、阪南市
兵庫県	神戸市、姫路市、明石市、西宮市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、川辺郡猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町
奈良県	奈良市、安堵町
和歌山県	和歌山市、海南市、御坊市、新宮市、紀の川市、岩出市、日高町、みなべ町、那智勝浦町、古座川町、串本町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、八頭郡八頭町、琴浦町、北栄町、大山町、南部町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、雲南市、奥出雲町、川本町、隠岐の島町
岡山県	岡山市、倉敷市、総社市、瀬戸内市、浅口市、和気町、矢掛町、鏡野町、吉備中央町
広島県	三原市、福山市、庄原市、東広島市
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、光市、長門市、周南市、山陽小野田市、田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、阿波市、美波町
香川県	丸亀市、善通寺市、東かがわ市、三豊市、宇多津町、まんのう町
愛媛県	松山市、今治市、新居浜市、西条市、大洲市、西予市
高知県	高知市、南国市、宿毛市、四万十町、大月町
福岡県	福岡市、大牟田市、筑後市、行橋市、小郡市、糸島市、筑前町、荻田町
佐賀県	佐賀市、唐津市、伊万里市、小城市、白石町
長崎県	佐世保市、平戸市、対馬市、壱岐市、雲仙市、小値賀町
熊本県	熊本市、八代市、荒尾市、玉名市、宇土市、阿蘇市、長洲町、西原村、湯前町
大分県	大分市、佐伯市、中津市、臼杵市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、国東市
宮崎県	宮崎市、延岡市
鹿児島県	出水市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市、南大隅町、肝付町、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、天城町
沖縄県	那覇市、豊見城市、伊江村

豊岡由来のコウノトリに加え、千葉県野田市、福井県が放鳥した個体のうち、足環による個体識別のできたものを市町村名として記載しています。
300例目は、沖縄県国頭郡伊江村でした。飛来した個体はJ0107号（豊岡市赤石渠塔）

野生復帰10年を越えて 全国へ そして世界へ

コウノトリを再び大空へ…。
 2005年から兵庫県・豊岡で始まった
 野生復帰。
 今では、兵庫県北部の但馬地域を中心に
 野生個体群が復活しつつあります。
 コウノトリは、日本各地の大空を翔け、
 2014年には初めて国境を越えて
 韓国へ渡りました。野生復帰の取組は
 今、全国へ、世界へと広がっています。

INFORMATION

兵庫県立大学大学院
 地域資源マネジメント研究科

平成28年度入学生募集C日程

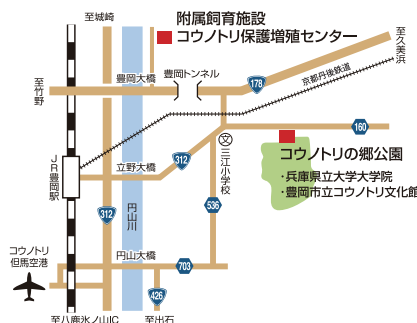
コウノトリについて
 学びませんか



対象：大学卒業者（見込含む）
 社会人・留学生（要件有）
 募集期間：H28. **2. 10**～**2. 21**
 試験日：H28. **3. 5**（土）
 試験会場：豊岡会場、神戸会場から選択
 申込・問合せ：兵庫県立大学豊岡ジョウコウノトリキャンパス
 tel. 0796-34-6079 (学務課)
 詳しくはWEBで www.u-hyogo.ac.jp/rrm

ACCESS

神戸から〔約2時間30分〕
 姫路から〔約2時間〕
 最寄りIC（北近畿豊岡自動車道）
 八鹿水ノ山ICから40分
 JR山陰本線「豊岡駅」から約4.5km
 全但バス（コウノトリの郷公園・法花寺・下の宮行き）
 コウノトリ但馬空港から約1.2km



編集後記

今冬は例年にない暖冬で始まり、郷公園でも春に開花するアセビ、コバノミツバツツジが12月末から開花しました。1月以降は水道が凍結する寒い日もあれば動く汗をかく暖かい日もあります。そんな温度差の大きい日々ですが、好天のときにはこたつから出てバードウォッチングを兼ねて散歩はいかがですか。運動不足の解消と気分転換には最適です。（自然解説員 三木芳喜）



兵庫県立コウノトリの郷公園

Hyogo Park of the Oriental White Stork
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128番地
 TEL. 0796-23-5666
 FAX. 0796-23-6538



27 教 2-030A4
 e-mail : kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 ホームページ : <http://www.stork.u-hyogo.ac.jp>
 開園時間：9：00～17：00
 休園日：毎週月曜日（休日に当たるときはその翌日）・12月28日～1月4日